

外科用X線テレビシステム

仕様書

令和 6 年 12 月

沖縄県立八重山病院

I. 調達物品の名称、数量・構成内訳及び性能、機能、規格等

外科用X線テレビシステムは下記の機器構成以上を備えていることとする。

調達物品名：外科用X線テレビシステム

1-1. X線発生装置	1 式
1-2. X線管装置及び絞り装置	1 式
1-3. X線検出器	1 式
1-4. Cアーム保持装置及びモニター	1 式
1-5. 画像処理機能	1 式

II. 調達物品に備えるべき技術的要件の概要

(1)本品調達物品に係る性能機能及び技術等（以下「性能」という。）の要求用件（以下「技術用件」という。）は別途に示すとおりである。

(2) 技術的要求用件は全て必須の要求要件である。

III. 納入期限

購入予定の外科用X線テレビシステムは令和7年3月31日（月）ま
でに入入、据付、配線、調整、漏洩線量測定が終了することとする。

IV. 納入場所

購入予定の外科用X線テレビシステムは、沖縄県立八重山病院手術室に納入することとする。

VI. その他

- (1) 入札機器は、新品であること。
- (2) 入札機器のうち医療用具に関しては、入札時点で薬事法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- (3) 本調達物品の搬入・据付・配線・調整に係る経費は供給者の負担で行うこと。

調達物品に備えるべき技術的要件	
1.	機器の性能、機能に関する要件
1-1	X線発生装置は以下の要件を満たすこと。
1-1-1	X線制御装置はインバータ方式であること。
1-1-2	X線出力は2kW以上であること。
1-1-3	最大透視管電流は5mA以上であること。
1-1-4	最大管電圧は110kV以上であること。
1-1-5	パルス透視機能を有し、最大15fps以上であること。
1-1-6	電源は単相100Vで使用できること。不可能な場合は専用の電源工事を行うこと。
1-2	X線管装置及び絞り装置
1-2-1	陽極形式は固定陽極であること。
1-2-2	最大陽極熱容量は100kHU以上であること。
1-2-3	バーチャルコリメーション機能を有すること。
1-2-4	軟X線を除去するBHフィルターを3種類以上有すること。
1-2-5	X線管球の焦点は0.6mm以下であること。
1-3	X線検出器
1-3-1	入射面視野寸法9インチ以上のI.I.を有すること。
1-3-2	視野サイズは2視野以上の切り替えが可能であること。
1-4	Cアーム保持装置及びモニタ
1-4-1	Cアーム体軸回りの回転は120° 以上であること。
1-4-2	Cアーム旋回は±12.5° 以上であること。
1-4-3	Cアーム開口寸法は780mm以上であること。
1-4-4	Cアームの上下動は450mm以上であること。
1-4-5	Cアーム前後動は、200mm以上であること。
1-4-6	Cアームの上下動は手動であること。
1-4-7	19インチ以上のLCDモニタを2面有すること。
1-4-8	モニタは折りたたんでコンパクトに収納できること。
1-4-9	モニタは2面共同じ透視像を表示するミラーリング機能を有すること。
1-4-10	透視画像のメモリが可能であること。
1-4-11	Cアーム保持装置上に、モニタと同じ画面を映す小型モニタを有すること。
1-4-12	Cアームの固定解除はすべて電磁ロック方式であること。
1-4-13	Cアーム保持装置本体とCアームのケーブル処理はCアーム内に収納されており、ケーブルが露出していないこと。
1-4-14	X線検出器側に電磁ロック解除ボタンを搭載したハンドルがついており、術者側からも電磁ロックを解除してCアーム操作が可能であること。
1-4-15	Cアーム台車は260kg以下であること。
1-4-16	Cアーム台車の横幅は800mm以下であり、コンパクトな設計であること。

1-5	画像処理機能
1-5-1	撮影マトリクスは1024×1024以上であること。
1-5-2	自動で輝度・コントラスト調整が可能であること。
1-5-3	計算線量を表示する機能または、面積線量計を有すること。
1-5-4	アナトミカルプログラムを有すること。
1-5-5	透視画像の見たいポイントをタッチすることで、その部分に合った輝度に調整できること。
1-5-6	イメージローテーションを有し、透視を出さなくとも画像を任意の回転角度に調整できること。
1-6	その他
1-6-1	放射線科既設透視台SONIALVISION G4のバージョンアップを行うこと。